令和８年度　第３回富士市公共交通協議会議事録（Ｒ８.10.16 開催）

事務局	本会議の取扱いについて 「富士市審議会等の会議の公開に関する規則」に準じて、「公開」 本会議の成立の可否 出席委員が委員定数の過半数を満たしているため、富士市公共交通協議会規則第３条第２項により「成立」
協議事項（１）	
事務局	＜第二次富士市地域公共交通計画の パブリックコメント原案について説明＞
副会長 （石川教授）	それでは議事の１つ目ですが、ご意見・ご質問等があればお願いいたします。
足木委員 （静岡運輸支局）	確認事項とお願い事項が何点かあります。 まず、37 ページの郊外生活交通について、前回計画と比較して「さくら」が新たに追加されていると理解しておりますが、補助を受けることを視野に入れているのであれば、補助対象となるか事前に運輸支局へお問合せいただければと思っております。 次に、同じく 37 ページの枝線の対象となっている蒲原病院線（富士宮駅～蒲原病院）についてですが、前回計画から新たに追加されたものと理解しています。市域をまたぐ路線であることから、富士宮市との調整状況や、県計画への位置付けに関する県との調整状況について教えてください。
事務局	まず、37 ページに掲載している「さくら」については、補助制度の要件を確認しながら進めるようにいたします。「蒲原病院線」の富士宮市や県との調整については、今後調整をさせていただきながら

	進めていきたいと考えています。
足木委員 （静岡運輸支局）	続けて、24 ページの地域内フィーダー系統の収支率について、現状でも目標値を上回っている中で、前回計画と同じ目標値（80%、33.3%、20%）を設定された理由があれば教えてください。 また、同じ 24 ページで数値指標に記載されている「民間事業者路線平均」「地域路線平均」「まちなか路線平均」は、具体的にどの路線を指しているのかがわかりにくいため、補足説明やわかりやすい表記にした方がより良いものになると思います。
事務局	地域内フィーダー系統の収支率については、令和７年度運行分では目標値を達成している状況です。今後さらに高い目標を設定する考え方もありますが、物価高騰や人件費高騰などの状況も踏まえ、現在達成している水準を維持していくことを目標として、前回計画と同様の目標値を設定しています。 また、「民間事業者路線平均」「地域路線平均」「まちなか路線平均」については、具体的な路線名称がわかるよう、補足や注意書きなどでわかりやすい表記となるよう対応していきたいと考えています。
足木委員 （静岡運輸支局）	36～37 ページの「地域公共交通確保維持事業等の必要性」について、前回計画では別の位置に掲載されていたものを、今回は独立した項目として後段に配置していると理解しています。計画書を前から読んだ際のわかりやすさを考えると、「プロローグ」や本編第１章の後など、もう少し前段に配置した方が流れとして理解しやすいのではないかと思います。今後の調整の中で、そのあたりについても相談させていただければと思っています。
事務局	こちらについては、第二次計画の構成を検討する中で現在の位置に掲載していますが、ご意見を踏まえ、今後検討していきたいと考えています。

高田委員 （まちづくり協議会）	24 ページや 26 ページの数値目標について、目標値を設定していますが、その達成に向けてどのような具体的施策を考えているのか教えてください。 また、高齢者にとってはドア・ツー・ドアの移動が基本であり、バス停や駅までの移動手段も課題であると考えています。公共交通の利用促進に向けて、高齢者の移動を支援する具体的な施策やサポートをどのように考えているのか教えてください。
事務局	数値目標については、例えば今後この地域にデマンドタクシーが導入された場合などを想定した上で設定しています。また、24 ページの目標 1 であれば、24～25 ページに記載している関連施策を実施することで、公共交通カバー面積の維持・向上を図り、目標の達成を目指していきます。人口カバー率についても、カバー面積の中の人口が総人口に対してどの程度いるかを表しているため、面積と連動した形で設定しています。
高田委員 （まちづくり協議会）	デマンドタクシーについては、運行を継続していく中で収支面も課題で、黒字になるのは難しいので、同じ赤字ならば利用者を増やした方が良いのではないかと私は思います。 また、19 ページのアンケート結果については、回答者の属性や実際の利用状況を踏まえて分析する必要があると思います。若い人でも単純に運行本数が多ければよいと言う人がいますが、もう少し調べた方が良いと思います。前回もアンケートの取り方に気を付けた方が良いという話をしましたが、今後実施する際には大変かと思いますがアンケートの取り方を研究した方が良いと思います。このことについて回答は不要です。
副会長 （石川教授）	17 ページの公共交通利用者数ですが、2020 年の数値はコロナ禍の状況を踏まえると数値が大きいように思われるため、2018 年の誤り

	ではないでしょうか。
事務局	ご指摘のとおりですので、訂正させていただきます。
小林委員 （市民委員）	20 ページのシステム環境の普及のグラフについて、令和６年度と令和７年度の数値に大きな差があるように見えました。令和６年度は 1,000 人未満、令和７年度は 6,000 人未満ということですが、利用者数が大幅に増加している一方で、アプリ利用率は大きく変化していないように見えるため、このグラフはどのように解釈すればよいでしょうか。
事務局	のるーとひまわりは、令和６年度の２月から運行を開始したため、令和６年度は２か月分の利用者しかカウントがされていません。アプリ利用率については、令和６年度と令和７年度は同程度となっています。
副会長 （石川教授）	令和６年度の数値が２か月分の実績であることがわかるような記載をお願いします。
	それでは、「第二次富士市地域公共交通計画のパブリックコメント原案」につきまして、先ほど数値等の修正のご指摘もありましたが、それらを修正いただくことを前提として、この内容で承認するということでよろしいでしょうか。
	＜異議なし＞
	ありがとうございました。以上で協議事項を終了します。
報告事項（１）	
事務局	＜運賃等協議分科会の結果について説明＞

渡辺委員 （市民委員）	運賃等協議分科会はどのような組織でしょうか。また、市民委員も参加しているのでしょうか。
事務局	運賃等協議分科会は、富士商工会議所の大村委員、静岡運輸支局の足木委員、まちづくり協議会連合会の高田委員、副市長、運行事業者で構成しています。
報告事項（２）	
事務局	＜バスの日イベントの実施について説明＞
池田委員 （富士急静岡バス）	静岡県内において、市町が独自にバスの日イベントを実施している事例は他になく、事業者として大変ありがたく感じています。今後も多くの方にバスを利用してもらえるよう、様々な企画に取り組んでいきます。
望月委員 （障害者支援協議会）	バスの乗り方教室では、普段は障害特性により路線バスの利用に不安を感じていたお子さんが参加し、この教室でチャレンジすることでバスに乗れるようになったということがあり、私にとっても新たな発見でした。障害のある仲間からも「富士市はすごいね」と言われます。
副会長 （石川教授）	バスの日イベントは、29 ページの「みんなで支え、育て、守る意識の啓発」に通じる取組であると思います。直接バスに乗ることだけではなく、様々な立場の方がバスに触れることで、公共交通への理解や意識の醸成につながるものとして開催いただいていると感じています。 ちなみに、今回は何人ぐらい参加されたのでしょうか。
事務局	参加者数については、4 ページに記載しているとおり、約 1,200 人

	でした。
渡辺委員 （市民委員）	バスの日イベントは毎年実施していると思いますが、参加者数は年々増加しているのでしょうか。
事務局	参加者数は天候に左右される部分が大きく、過去には天候に恵まれ約 1,500 人が来場したこともありましたが、昨年度や今年度は天候が不安定で、途中から雨が降った影響もあり、今年度は約 1,200 人の来場となりました。
副会長 （石川教授）	そのような情報も必要だと思います。やはりイベントである以上、天候の影響も大きいと思います。
渡辺委員 （市民委員）	今年は市制施行 60 周年記念のデジタルスタンプラリーを同じ会場で出来たこともよかったと思います。
副会長 （石川教授）	子どもがバスを利用する機会が減っている中で、子どもの頃からバスに親しんでもらう機会として、有意義な取組であると思います。
足木委員 （静岡運輸支局）	バスの日イベントは、今回で何回目の開催ですか。
事務局	平成 17 年度か 18 年度頃から実施していたと思います。
事務局	報告事項は以上で終了します。いただいたご意見につきましては、十分尊重させていただき、今後の取組に反映していきます。
その他（１）	
事務局	＜岳南鉄道線の存続について説明＞

事務局	今回の要望を受け、本協議会としての意見を検討していきたいと考えています。前回と同様に地方鉄道分科会を設置し、効果検証等を行いながら取りまとめを進め、来年５月の協議会で報告し、ご協議いただきたいと考えています。
その他（２）	
事務局	＜山梨交通廃止代替バスにおける事故について説明＞
池田委員 （富士急静岡バス）	この度は、大きな事故を起こしてしまい、大変申し訳ございませんでした。乗車していたお客様、民家の方、松野地区をはじめとする市民の皆様には大変なご心配やご不安をおかけしたと思います。 原因につきましては、病院の検査等では異常が見当たらないということではありますが、引き続き富士警察署や関係当局と連携して原因究明にあたりたいと思います。いずれにしても健康に起因する事故には違いないと思いますので、乗務員の健康管理を徹底し、再発防止に努めてまいります。
その他（３）	
事務局	＜鷹岡地区デマンドタクシー「さくら」の実証運行について説明＞
その他（４）	
事務局	＜自動運転バス実証運行について説明＞
その他（５）	
事務局	＜地方鉄道フェア２０２６について説明＞
事務局	最後に、事務局から次回の予定についてご連絡いたします。次回は１月 25 日に開催する予定でおります。事前に開催の案内をさせていただきますので、委員の皆様におかれましては、お忙しい中、大変恐縮ですけれどもご出席いただければと思いますので、よろしくお願

いいたします。

それでは、以上で本日の協議会を終了させていただきます。

本日はありがとうございました。